

## 1 学校評価の活用等について（課題の改善に向けた具体的な取り組み等）

- |           |   |
|-----------|---|
| 1 学校経営    | 学校の教育目標等を保護者・生徒及び地域の方々に理解を得られるよう、ホームページ、自治会パトロールや地域の回覧板等を活用し、学校の取組を積極的に発信する。地域中学校や関係機関との連携においても情報発信に努める。  |
| 2 学習指導    | 学習指導について、保護者から一定の評価は得られている。生徒からの評価は昨年度の「C」評価から「B」となった。新学習指導要領の実施にむけて、各教科でICTを活用した授業を取り入れるなど、授業改善に取り組んだ成果だと考えられる。今後も一層の授業改善に努め、学習意欲を向上させる。ICTの積極的な活用を引き続き推進するとともに、学習の動機付けとして資格・検定の取得を目標にし、個別指導・補習を充実させる。 |
| 3 生徒指導    | 本校「いじめ防止基本方針」に沿い、「いじめ対策委員会」を中心に全教職員の協力のもと、きめ細やかな指導を行い、いじめのない学校づくりを推進する。また、教員による校門での立ち番や休み時間の見守り指導、学校周辺の清掃等を継続し、地域の方々や関係機関と連携を強化し理解を得ていく。その他、不審者対応等の緊急時の対応についても、マニュアルの確認を確実にし、常に教員の危機意識を高めておくようにする。      |
| 4 進路指導    | 卒業時に希望する進路に進むだけでなく社会に適応できるよう、系統的なキャリア教育の一層の充実に努め、職場見学等の校外学習を実施する。「働きながら学ぶ」ことの尊さを涵養し、健全な勤労観・職業観の育成を図る。   |
| 5 特別活動等   | 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策による特別活動の見直しを行い、感染防止対策を講じたうえでの実施となった。今後も、状況に応じて工夫を凝らしながら、生徒会・学校行事等をとおしてより良い人間関係の構築、自治能力の育成を図る。  |
| 6 学校図書室   | スマホの影響等により、生徒の図書に関する興味や関心が低い。本に触れる機会を増やすため、本年度も読書会を実施した。図書室の整備を進め、今後は授業でも図書室を活用し、不読者率が下がるような読書指導を充実させていきたい。   |
| 7 保健・安全指導 | 「保健だより」の発行などをとおして病気の予防や健康の大切さを生徒たちに発信し、適切かつ効果的な指導を行うことができた。コロナウイルス感染  |

症対策として、毎日、次亜塩素酸による消毒作業を実施した。また、教室内の湿度を定期的に測り、換気を励行した。今後もこの取組を継続するとともに、生徒の事故やケガ・病気等に適切に対応できるよう、日常の管理体制を一層充実させたい。

- |                  |   |
|------------------|---|
| 8 人権教育           | 中学校、地域や関係諸機関との連携をより一層強化・充実させ、適切な指導・支援となるよう、情報交換等を積極的に行う。また、研修の内容を充実させ、教職員の人権意識をさらに向上させる。                      |
| 9 環境教育           | 感染防止対策を講じたうえで、2年ぶりに瀬田川清掃を実施した。また、定期的に教室を中心とした全校での清掃作業を実施した。今後は、日常の清掃やゴミの分別等をとおして環境を守る意識を向上させたい。               |
| 10 事務・管理         | 学習環境の整備、安全管理や適切な会計処理等を万全なチェック体制で引き続き取り組んで行く。  |
| 11 その他学校の<br>取組み | 「学校は働きながら学びやすいか」というアンケートの質問項目に対する生徒の評価が極めて高い。「学び直し」「働きながら学ぶ」を本校のあらゆる教育活動の柱と位置づけ、生徒を支援できるよう、粘り強く丁寧な指導体制の充実を図る。 |